

対象校No. 278

注4

学校コード F101310100356

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 大学院の設置

注1

認可

注2

札幌保健医療大学 保健医療学研究科 保健医療学専攻（修士課程）

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人吉田学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局総務課

職名・氏名 カチョウ テグチ ケンシ
課長・出口 憲史

電話番号 011-792-3350

(夜間) 011-792-3350

e-mail somu@sapporo-hokeniryou-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

保健医療学研究科

＜保健医療学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人吉田学園

(2) 大学名

札幌保健医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒007-0894

北海道札幌市東区中沼西4条2丁目1-15

(〒060-0063 北海道札幌市東区北14条東6丁目1-55)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ マツオ) 吉田 松雄 (令和5年4月13日)	(ヨシダ ユウキ) 吉田 祐樹 (令和5年4月14日)	理事長交代(6)
学長	(オオヒナタ テルミ) 大日向 輝美 (令和5年4月1日)		
研究科長	(オオヒナタ テルミ) 大日向 輝美 (令和5年4月1日)	(ハットリ ユカリ) 服部 ユカリ (令和6年4月1日)	兼務から新規就任(6)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学研究科 保健医療学専攻 修士（保健医療学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	2 年	5 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	10 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A	入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	-	-	-	0.6倍	-	
	志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-			
	受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	-	-	-			
	合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-			
B	入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-			
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.6	-	-	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設け方を中止している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択し、備考欄に「（春季入学以外の学期区分の設定を予定しない）場合は「-」を選択」を記入してください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- ・ 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ (5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	3 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	6 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学研究科 保健医療学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目群	保健医療学特論	1前	2			3						
	保健医療システム論	1後		1		1						2
	チーム医療と組織管理	1後	2			2						1
	保健医療と倫理	1後	2			1						1
	研究法概説	1前	2			1						
	統計学	1前		1		1						
	疫学と保健統計	1後		1								1
	ヘルスアセスメント	1後	1			2	1					
	健康教育論	1後		1		2						
	健康行動科学特論	1後		2								1
	保健医療教育学特論	1前		2		1						
フィールドワーク	1後		1		4							
小計(12科目)	-	-	10	8	0	10	1	0	0	0	0	6
専門科目群	*健康食生活学特論	1前		2		1	1					
	*健康増進支援学特論Ⅰ※1	1前		2		2						
	*健康増進支援学特論Ⅱ※1	1前		2		2						
	健康増進支援特別演習Ⅰ※1	1通		2		6	1	1				
	健康増進支援特別演習Ⅱ※1	2前		2		6	1	1				
	健康増進支援特別研究※1	2通		6		6	1	1				
	小計(6科目)	-	0	16	0	6	1	1	0	0	0	0
	*健康医療科学特論	1前		2		1						
	*健康再生支援学特論Ⅰ※2	1前		2		2						
	*健康再生支援学特論Ⅱ※2	1前		2		2						
	健康再生支援特別演習Ⅰ※2	1通		2		5	1					
健康再生支援特別演習Ⅱ※2	2前		2		5	1						
健康再生支援特別研究※2	2通		6		5	1						
小計(6科目)	-	0	16	0	6	1	0	0	0	0	0	
合計(24科目)	-	-	10	40	0	12	2	1	0	0	0	6
卒業要件及び履修方法												
(修了要件) ※1:健康増進支援領域履修者の選択必修科目 ※2:健康再生支援領域履修者の選択必修科目 共通科目群から12単位以上(必修科目10単位、選択科目2単位以上)、専門科目群から18単位以上(選択した領域の特論Ⅰ・Ⅱ、特別演習Ⅰ・Ⅱ、特別研究を修得する。併せて他の領域の*の付された科目を4単位以上修得する。)合計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、本研究科が実施する修士論文審査及び最終試験に合格すること。												

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目群	保健医療学特論	1前	2			1						1
	保健医療システム論	1後		1		0						3
	チーム医療と組織管理	1後	2			2						1
	保健医療と倫理	1後	2			1						1
	研究法概説	1前	2			1						
	統計学	1前		1		0						1
	疫学と保健統計	1後		1								1
	ヘルスアセスメント	1後	1			2	1					
	健康教育論	1後		1		2						
	健康行動科学特論	1後		2								1
	保健医療教育学特論(未開講)	1前		2		1						
フィールドワーク	1後		1		4						0	
小計(12科目)	-	-	10	8	0	8	1	0	0	0	0	9
専門科目群	*健康食生活学特論	1前		2		1	1					
	*健康増進支援学特論Ⅰ※1	1前		2		2						
	*健康増進支援学特論Ⅱ※1	1前		2		2						
	健康増進支援特別演習Ⅰ※1	1通		2		5	1	1				
	健康増進支援特別演習Ⅱ※1	2前		2		5	1	1				
	健康増進支援特別研究※1	2通		6		5	1	1				
	小計(6科目)	-	0	16	0	5	1	1	0	0	0	0
	*健康医療科学特論(未開講)	1前		2		1						
	*健康再生支援学特論Ⅰ※2	1前		2		2						0
	*健康再生支援学特論Ⅱ※2	1前		2		2						0
	健康再生支援特別演習Ⅰ※2	1通		2		5	1					0
健康再生支援特別演習Ⅱ※2	2前		2		5	1					0	
健康再生支援特別研究※2	2通		6		5	1					0	
小計(6科目)	-	0	16	0	6	1	0	0	0	0	0	
合計(24科目)	-	-	10	40	0	10	2	1	0	0	0	9
卒業要件及び履修方法												
(修了要件) ※1:健康増進支援領域履修者の選択必修科目 ※2:健康再生支援領域履修者の選択必修科目 共通科目群から12単位以上(必修科目10単位、選択科目2単位以上)、専門科目群から18単位以上(選択した領域の特論Ⅰ・Ⅱ、特別演習Ⅰ・Ⅱ、特別研究を修得する。併せて他の領域の*の付された科目を4単位以上修得する。)合計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、本研究科が実施する修士論文審査及び最終試験に合格すること。												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通科目群	保健医療学特論	1前	2			1					1
	保健医療システム論(未開講)	1後		1		0					2
	チーム医療と組織管理	1後	2			2					1
	保健医療と倫理	1後	2			1					1
	研究法概説	1前	2			1					
	統計学	1前		1		1					
	疫学と保健統計(未開講)	1後		1							1
	ヘルスアセスメント(未開講)	1後	1			2	1				
	健康教育論(未開講)	1後		1		2					
	健康行動科学特論(未開講)	1後		2							1
	保健医療教育学特論	1前		2		1					
フィールドワーク	1後		1		3					1	
小計(12科目)	-	10	8	0	8	1	0	0	0	8	
健康増進支援領域	*健康食生活学特論(未開講)	1前		2		1	1				
	*健康増進支援学特論Ⅰ※1	1前		2		2					
	*健康増進支援学特論Ⅱ※1(未開講)	1前		2		2					
	健康増進支援特別演習Ⅰ※1	1通		2		5	1	1			
	健康増進支援特別演習Ⅱ※1(未開講)	2前		2		5	1	1			
	健康増進支援特別研究※1(未開講)	2通		6		5	1	1			
	小計(6科目)	-	0	16	0	5	1	1	0	0	0
健康再生支援領域	*健康医療科学特論(未開講)	1前		2		1					
	*健康再生支援学特論Ⅰ※2	1前		2		1					1
	*健康再生支援学特論Ⅱ※2(未開講)	1前		2		1					1
	健康再生支援特別演習Ⅰ※2	1通		2		4	1				1
	健康再生支援特別演習Ⅱ※2(未開講)	2前		2		4	1				1
	健康再生支援特別研究※2(未開講)	2通		6		4	1				1
小計(6科目)	-	0	16	0	5	1	0	0	0	1	
合計(24科目)	-	10	40	0	10	2	1	0	0	8	

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

※1:健康増進支援領域履修者の選択必修科目

※2:健康再生支援領域履修者の選択必修科目

共通科目群から12単位以上(必修科目10単位、選択科目2単位以上)、専門科目群から18単位以上(選択した領域の特論Ⅰ・Ⅱ、特別演習Ⅰ・Ⅱ、特別研究を修得する。併せて他の領域の*の付された科目を4単位以上修得する。)合計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、本研究科が実施する修士論文審査及び最終試験に合格すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

フィールドワーク・健康増進支援学特論Ⅰ・健康増進支援学特論Ⅱについては、令和4年12月のAC教員審査を経て、専任教員（近藤明代）に追加となった。
就任予定者（針金佳代子）が一身上の都合により就任辞退となった。
就任予定者（川口美喜子）が前任大学の関係から就任延期となり、令和5年度は兼任教員として、令和6年度は専任教員として就任することになった。

【令和6年度】

保健医療システム論は兼任教員が担当することとなった。
川口美喜子が予定通り、令和6年度は専任教員として就任することになった。
統計学を担当していた専任教員（末光厚夫）が退職したため、兼任教員が担当することとなった。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	18 科目	0 科目	24 科目	6 科目 []	18 科目 []	0 科目 []	24 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場用地は校舎敷地とは別地 (距離1km、徒歩10分) 学生駐車場 1,652.89㎡(借用期間:平成24年 12月1日~令和14年12月31日) 共用する他の学校等の専用はサテ ライト教室として使用する専門学 校北海道リハビリテーション大学 校(定員480人)同福祉・保育大学 校(定員300人)、吉田学園公務員 法科専門学校(定員185人)校舎1 棟の敷地		
	校舎敷地	10,449.00㎡	0㎡	890.15㎡	11,339.15㎡			
	運動場用地	21,600.00㎡	0㎡	0㎡	21,600.00㎡			
	小 計	32,049.00㎡	0㎡	890.15㎡	32,939.15㎡			
	そ の 他	3,809.89㎡	0㎡	0㎡	3,809.89㎡			
	合 計	35,858.89㎡	0㎡	890.15㎡	36,749.04㎡			
(2) 校 舎	専 用	14,888.12㎡	390.62㎡	7,159.86㎡	22,438.60㎡	共用はサテライト教室(2室他) として使用する面積 専門学校北海道リハビリテーショ ン大学校(定員480人)の必要面積 3,342㎡、同福祉・保育大学校(定 員300人)の必要面積2,725㎡、吉 田学園公務員法科専門学校(定員 185人)の必要面積1,482㎡		
		(14,888.12㎡)	(390.62㎡)	(7,159.86㎡)	(22,438.60㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	10室 11室	19室	11室 (補助職員 0人)	3室 2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	大学全体 情報処理室を講義室に改修を行っ た(5)	
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	保健医療学研究科保健医療学専攻(修士課程)			15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用 図書 36,070冊〔981冊〕 学術雑誌 294種〔84種〕 電子ジャーナル 66種〔65種〕 視聴覚資料 1,143点 保健医療学関連の図書を算 出。新規大学院の図書購入に ついては洋書e-book 51タイ トルを含む
		保健医療学研究科 保健医療学専攻	14,191〔434〕 15,921〔502〕 (14,191〔434〕 15,921〔502〕)	182〔75〕 191〔70〕 (182〔75〕 191〔70〕)	66〔65〕 87〔63〕 (66〔65〕 87〔63〕)	441 481 (441 481)	1,629 (1,629)	
	計	14,191〔434〕 15,921〔502〕 (14,191〔434〕 15,921〔502〕)	182〔75〕 191〔70〕 (182〔75〕 191〔70〕)	66〔65〕 87〔63〕 (66〔65〕 87〔63〕)	441 481 (441 481)	1,629 (1,629)	15 (15)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	706.10㎡		108		37870			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	611.92㎡		該 当 な し					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度以降の図書 購入費は大学全体 図書購入費には電子 ジャーナルに関する費 用を含む
		教員1人当り研究費等	467千円	467千円	図書購入費	1,682千円	18,000千円	
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金収入、補助金収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		札幌保健医療大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	180	-	720	-	0.84	0.84	-	平成25	-	
看護学科	4	100	0	400	学士(看護学)	1.05	1.05	-	平成25	北海道札幌市東区中野田4条2-1-15	
栄養学科	4	80	3年次若干名	320	学士(栄養学)	0.64	0.64	-	平成29	同上	
大学全体	4	180	3年次若干名	720	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<保健医療学研究科保健医療学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大日向 輝 美 (61) <令和5年4月> 博士(教育学)
		保健医療と倫理 ヘルスアセスメント 保健医療教育学特論 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	千葉 仁 志 (69) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健医療学特論 健康医療科学特論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	針 金 佳代子 (69) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健医療学特論
		保健医療システム論
		フィールドワーク 健康増進支援学特論Ⅰ 健康増進支援学特論Ⅱ
		健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	山 部 秀 子 (68) <令和5年4月> 博士(保健学)
		フィールドワーク 健康増進支援学特論Ⅰ 健康増進支援学特論Ⅱ 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大日向 輝 美 (61) <令和5年4月> 博士(教育学)
		保健医療と倫理 ヘルスアセスメント 保健医療教育学特論 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	千葉 仁 志 (69) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健医療学特論 健康医療科学特論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
兼任	講師	富 永 壮 (42) <令和5年4月> 学士(看護学)
		保健医療学特論
兼任	講師	千 葉 昌 樹 (67) <令和6年4月> 学士(栄養学)
		保健医療システム論
専	教授	近 藤 明 代 (60) <令和5年4月> 修士(看護学)
		フィールドワーク 健康増進支援学特論Ⅰ 健康増進支援学特論Ⅱ
		本人(針金佳代子) 担当予定分 開講しない
		健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	山 部 秀 子 (68) <令和5年4月> 博士(保健学)
		フィールドワーク 健康増進支援学特論Ⅰ 健康増進支援学特論Ⅱ 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大日向 輝 美 (62) <令和5年4月> 博士(教育学)
		保健医療と倫理 ヘルスアセスメント 保健医療教育学特論 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	千葉 仁 志 (70) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健医療学特論 健康医療科学特論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
兼任	講師	富 永 壮 (43) <令和5年4月> 学士(看護学)
		保健医療学特論
兼任	講師	千 葉 昌 樹 (68) <令和6年4月> 学士(栄養学)
		保健医療システム論
専	教授	近 藤 明 代 (61) <令和5年4月> 修士(看護学)
		フィールドワーク 健康増進支援学特論Ⅰ 健康増進支援学特論Ⅱ
		本人(針金佳代子) 担当予定分 開講しない
		健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	山 部 秀 子 (69) <令和5年4月> 博士(保健学)
		フィールドワーク 健康増進支援学特論Ⅰ 健康増進支援学特論Ⅱ 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究

専	教授	板垣 康治 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康食生活学特論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	服部 ユカリ (65) <令和5年4月> 博士(老年学)
		研究法概説 フィールドワーク 健康再生支援学特論Ⅰ 健康再生支援学特論Ⅱ 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	川口 美喜子 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健医療学特論 フィールドワーク 健康再生支援学特論Ⅰ 健康再生支援学特論Ⅱ 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	藤井 瑞恵 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	岡本 智子 (63) <令和5年4月> 修士(障害科学)
		チーム医療と組織管理 ヘルスアセスメント 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	近藤 明代 (60) <令和5年4月> 修士(看護学)
		チーム医療と組織管理 健康教育論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	百々瀬 いづみ (54) <令和5年4月> 博士(栄養学)
		健康教育論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	末光 厚夫 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		統計学

専	教授	板垣 康治 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康食生活学特論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	服部 ユカリ (65) <令和5年4月> 博士(老年学)
		研究法概説 フィールドワーク 健康再生支援学特論Ⅰ 健康再生支援学特論Ⅱ 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
兼任 講師	教授	川口 美喜子 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健医療学特論 フィールドワーク 健康再生支援学特論Ⅰ 健康再生支援学特論Ⅱ 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	藤井 瑞恵 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	岡本 智子 (63) <令和5年4月> 修士(障害科学)
		チーム医療と組織管理 ヘルスアセスメント 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	近藤 明代 (60) <令和5年4月> 修士(看護学)
		チーム医療と組織管理 健康教育論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	百々瀬 いづみ (54) <令和5年4月> 博士(栄養学)
		健康教育論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	末光 厚夫 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		統計学

専	教授	板垣 康治 (66) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康食生活学特論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	服部 ユカリ (66) <令和5年4月> 博士(老年学)
		研究法概説 フィールドワーク 健康再生支援学特論Ⅰ 健康再生支援学特論Ⅱ 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	川口 美喜子 (66) <令和6年4月> 博士(医学)
		保健医療学特論 フィールドワーク 健康再生支援学特論Ⅰ 健康再生支援学特論Ⅱ 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	藤井 瑞恵 (66) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	岡本 智子 (64) <令和5年4月> 修士(障害科学)
		チーム医療と組織管理 ヘルスアセスメント 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	教授	近藤 明代 (61) <令和5年4月> 修士(看護学)
		チーム医療と組織管理 健康教育論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	教授	百々瀬 いづみ (55) <令和5年4月> 博士(栄養学)
		健康教育論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
兼任 講師	教授	三瀬 敬治 (64) <令和6年4月> 医学博士
		統計学

専	准教授	首藤 英里香 (47) <令和5年4月> 博士(看護学)
		ヘルスアセスメント 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	准教授	金高(荻原) 有里 (41) <令和5年4月> 博士(学術)
		健康食生活学特論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	講師	津久井 隆行 (39) <令和5年4月> 博士(水産科学)
		健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
兼任	講師	齋藤 健 (67) <令和5年4月> 医学博士
		疫学と保健統計
兼任	講師	上田 順子 (67) <令和5年4月> 修士(看護学)
		チーム医療と組織管理
兼任	講師	旗手 俊彦 (62) <令和5年4月> 博士(法学)
		保健医療と倫理
兼任	講師	北田 雅子 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康行動科学特論
兼任	講師	大西 浩文 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健医療システム論
兼任	講師	伊藤 新一郎 (43) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		保健医療システム論

専	准教授	首藤 英里香 (47) <令和5年4月> 博士(看護学)
		ヘルスアセスメント 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	准教授	金高(荻原) 有里 (41) <令和5年4月> 博士(学術)
		健康食生活学特論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	講師	津久井 隆行 (39) <令和5年4月> 博士(水産科学)
		健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
兼任	講師	齋藤 健 (67) <令和5年4月> 医学博士
		疫学と保健統計
兼任	講師	上田 順子 (67) <令和5年4月> 修士(看護学)
		チーム医療と組織管理
兼任	講師	旗手 俊彦 (62) <令和5年4月> 博士(法学)
		保健医療と倫理
兼任	講師	北田 雅子 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康行動科学特論
兼任	講師	大西 浩文 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健医療システム論
兼任	講師	伊藤 新一郎 (43) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		保健医療システム論

専	准教授	首藤 英里香 (48) <令和5年4月> 博士(看護学)
		ヘルスアセスメント 健康再生支援特別演習Ⅰ 健康再生支援特別演習Ⅱ 健康再生支援特別研究
専	准教授	金高(荻原) 有里 (42) <令和5年4月> 博士(学術)
		健康食生活学特論 健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
専	講師	津久井 隆行 (40) <令和5年4月> 博士(水産科学)
		健康増進支援特別演習Ⅰ 健康増進支援特別演習Ⅱ 健康増進支援特別研究
兼任	講師	齋藤 健 (68) <令和5年4月> 医学博士
		疫学と保健統計
兼任	講師	上田 順子 (68) <令和5年4月> 修士(看護学)
		チーム医療と組織管理
兼任	講師	旗手 俊彦 (63) <令和5年4月> 博士(法学)
		保健医療と倫理
兼任	講師	北田 雅子 (54) <令和5年4月> 博士(医学)
		健康行動科学特論
兼任	講師	大西 浩文 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		保健医療システム論
兼任	講師	伊藤 新一郎 (44) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		保健医療システム論

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリ)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

就任予定教員（針金佳代子教授）が昨年度末に一身上の都合により就任辞退となったため、次の通り授業担当科目の変更を行った。

- ・保健医療学特論（オムニバス）については、分担部分を兼任講師の富永壮に変更した。
- ・保健医療システム論（オムニバス）については、現在、兼任講師と交渉中で就任未定となっている。（令和5年度は履修者がいないため開講しない。）
- ・フィールドワーク、健康増進支援学特論Ⅰ、健康増進支援学特論Ⅱについて、AC教員資格審査を（令和4年12月教員審査済）経て、専任教員（近藤明代教授）に変更した。
- ・健康増進支援特別演習Ⅰ、健康増進支援特別演習Ⅱ、健康増進支援特別研究については、申請時の教員資格審査において、健康増進支援特別研究が研究指導補助（M合）となったが、健康増進支援特別演習Ⅰ、Ⅱを含めて、当初は担当する予定でいた。しかし昨年度末に一身上の都合により、就任辞退となったため、開講はしないこととした。

就任予定教員（川口美喜子教授）は、前任大学（大妻女子大学）での業務等が完結出来ず、就任時期が令和6年度に延期となった。令和5年度については兼任講師として、本学大学院の授業担当を行うこととした。

【令和6年度】

就任予定教員（針金佳代子教授）が一昨年度末に一身上の都合により就任辞退となったため、次の通り授業担当科目の変更を行った。

- ・保健医療システム論（オムニバス）については、兼任講師の千葉昌樹に変更した。

川口美喜子教授は、予定通り、今年度、就任した。

末光厚夫教授が昨年度末に一身上の都合により辞任したため、担当の統計学については、兼任講師の三瀬敬治に変更した。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6	4	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	2	1	0	15	0	10	2	1	0	13	0
(10)	(2)	(1)	(0)	(13)	(0)						
研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
うち 教授数						うち 教授数					
14	11	1	1			13	10	0	0		
(12)	(9)	(0)	(1)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	2	1	0	13	0	10	2	1	0	13	0
[Δ2]	[]	[]	[]	[Δ2]	[]	[Δ2]	[]	[]	[]	[Δ2]	[]
研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
うち 教授数						うち 教授数					
13	10	0	0			13	10	0	0		
[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]			[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	6	6
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{15} = \boxed{86.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{6}{13} = \boxed{46.15} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	針 金 佳代子	R5.3	必修	保健医療学特論	②	R5.3一身上の都合のため就任辞退（5）						
				選択	保健医療システム論	②							
				必修	フィールドワーク	①							
				選択	健康増進支援学特論Ⅰ	①							
				選択	健康増進支援学特論Ⅱ	①							
				選択	健康増進支援特別演習Ⅰ	③							
				選択	健康増進支援特別演習Ⅱ	③							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	2	科目	選択	1	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	3	科目	計	2	科目	計	3	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	末光 厚夫	R6.3	必修	統計学	②	R6.3.31付け、一身上の都合により辞任（6）						
				選択									
				自由									
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	0	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	2 科目	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	7 科目	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	3 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9 科目	計	3 科目	計	3 科目	計	3 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{12} = 16.66 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
						該当なし		
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

新入生オリエンテーション時に専任教員1名の就任辞退を説明し、選択1科目(統計学)は兼任講師が担当することを直接説明した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>認可時 (令和4年)</p>	<p>設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p> <p>設置計画を確実に履行するため、研究科運営に必要な規程等を整備し、研究科委員会には、カリキュラム検討部会及び入学試験・広報部会を設置する等、運営体制を整備した。また、研究指導に必要な規程などを策定し、研究指導体制を整備した。 新生を迎え、新生ガイダンスを経て、設置計画に基づき、授業計画及び研究指導が予定通り開始されている。新生3名はすべて長期履修学生であり、今後は研究計画の検討の進行にあわせて、教育研究活動の一層の充実及び向上に努めることとしている。 (5)(6)</p>	<p>履行中</p> <p>設置の趣旨・目的等に示した本研究科の教育研究目的を実現させるため、計画的に教育研究活動を進めていくこととしている。(5)(6)</p>
	<p>「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見1及び2への対応において、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーが改められたが、修正前の申請書において「カリキュラム・マップ」で示されていた両ポリシーに掲げる項目ごとの対応関係や、カリキュラム・ポリシーと授業科目との対応関係を示した図が、修正後の申請書における「カリキュラム・マップ」では示されていないものの、入学志願者や学生等に対しては、これらの対応関係がより容易に理解できるよう、図や表を用いて分かりやすく周知すること。また、DP5で新たに「マネジメント力」を掲げ、対応する必修科目が「フィールドワーク」であることが示されたが、当該授業科目のシラバスを見る限り、到達目標に掲げる「ケアマネジメントの・・・実態を把握し、説明できる」能力が身に付く内容となっていないか必ずしも明確でないため、シラバスの記載内容の工夫や周知等を通じて学生が理解できるようにすること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p> <p>付帯意見を踏まえ、「カリキュラム・マップ」を修正し、授業科目とカリキュラム・ポリシーの対応項目を明示した。なお、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの各項目は直接的に連関していないため横に並べる形で表示している。 さらに、共通科目と研究科目の年次進行と学修の順序性、ディプロマ・ポリシーとの連関を示した「カリキュラム・ポリシー」を新たに作成し、2023年度入学志願者及び学生に周知を行った。(5)(6)</p>	<p>履行中</p> <p>各科目とカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの対応関係を示した「カリキュラム・マップ」及び新たに作成した「カリキュラム・ポリシー」に基づき、今後も入学志願者や学生等に対して本大学院の教育課程の説明及び履修指導を行っていく。 (5)(6)</p>

<p>認可時 (令和4年)</p>	<p>「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見4への対応において、看護学と栄養学の知識・技術を修得するため、学生が両分野の知識・技術を着実に修得できるよう、どのようなプロセスで履修指導がなされるのか説明を求めたところ、看護学と栄養学の両学問に係る観点からの履修指導の在り方ではなく、領域(健康増進支援領域、健康再生支援領域)ごと又は他領域の科目の履修に係る観点からの指導方法に関する説明が中心となっている。自らの専門性等について様々なバックグラウンドを持つ学生が、カリキュラム・ポリシーに掲げる「看護学・栄養学に立脚する専門職種間の相互理解を深め」るため、また「設置の趣旨等を記載した書類」の「1. 設置の趣旨および必要性(6)本研究科修了生の進路の見通し」に記載されている「看護・栄養の連携・協働」を行う能力を身に付けるために、本専攻の教育課程において看護学及び栄養学をどのように履修するか周知するとともに、教育効果の向上の観点から細やかな履修指導を行うこと。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>看護職と管理栄養士の連携・協働を推進し、健康・生活・栄養に係る課題の改善・解決を図るためには、両者の相互理解が不可欠である。そこで、他方の学問分野(看護学/栄養学)の目的・対象・方法、看護職・管理栄養士の実践上の特性を理解するとともに、自己の専門性を発展させていく取組みを行う。</p> <p>共通科目群においては、研究力の基盤となる諸科目を除き、看護学と栄養学、看護職と管理栄養士の両者に共通する、もしくは両者で共有する必要のある保健医療に係る知識と技術、看護学と看護実践、栄養学と栄養実践の目的・対象・方法、看護職・管理栄養士の担う役割・機能の特徴と共通性・相違性を学修するための科目が配置されている。共通科目群の選択に際しては、今後、研究を進めるうえで、また、自職種の実践に取り込むことにより支援の質的向上を可能とする学修内容を吟味し、選択することが望まれる。</p> <p>研究科目群の特論科目では、共通科目群での学修を基盤に相互理解を深化させるとともに、他方の専門分野の知見、専門性の特徴を自職種の実践に活用できるように取り組むことが重要である。</p> <p>なお、上記については、「新入生ガイダンス」の履修指導において説明した他、大学院学生に配布した冊子「履修の手引き」の履修要項に「看護学・栄養学の連携・協働を推進するための学修について」として記載し周知している。(5)(6)</p>	<p>引き続き、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーとあわせて、「看護学・栄養学の連携・協働を推進するための学修について」を用いて履修指導を行い、両分野の知識・技術の着実な修得及び看護・栄養の連携・協働を行う能力の習得を目指す。(5)(6)</p>
<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が多いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に務めるとともに教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>審査の過程での是正意見を踏まえて作成した教員の退職と補充計画に基づき履行中である。令和3年度には若手教員1名と中堅教員1名が博士号を取得し、将来の大学院を担う人材を育成中である。(4)</p> <p>審査の過程での改善意見を踏まえて作成した教員の退職と補充、承認計画に基づき履行中である。すでに3科目について定年年齢を超えた教授(69歳)からAC教員資格審査を経て、学内の教授(60歳)に変更を行った。(5)(6)</p>	<p>今後の教員の組織編成は、審査の過程での是正意見を踏まえて作成した教員の退職と補充計画に基づき実施する。(4)(5)(6)</p>	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学研究科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD委員会 札幌保健医療大学FD委員会規程（資料添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

第1回 2023年5月19日開催（5名参加）

第2回 2023年6月9日開催（5名参加）

第3回 2023年7月5日～（メール審議）

第4回 2023年7月18日開催（5名参加）

第5回 2023年8月3日～（メール審議）

第6回 2023年9月27日開催（5名参加）

第7回 2023年9月29日～（メール審議）

第8回 2023年11月16日開催（4名参加）

第9回 2023年12月19日開催（5名参加）

第10回 2024年2月13日開催（5名参加）

第11回 2024年2月27日開催（5名参加）

第12回 2024年3月26日開催（5名参加）

c 委員会の審議事項等

第1回（1）2022年度活動報告について

（2）2023年度活動に関する学長要望事項について

（3）2023年度FD・SD研修会について

（4）授業評価について

第2回（1）2023年度FD・SD研修会について

（2）令和5年度北海道FD・SD協議会総会について

第3回（1）科研費セミナー実施計画案について

第4回（1）2023年度FD・SD研修会の企画について

（2）2023年度授業見学について

（3）2023年度授業評価アンケート回収率向上のための方策について

（4）2024年度授業評価アンケートの検討について

- 第5回 (1) 授業評価アンケート大学ホームページの公開について
- 第6回 (1) 2023年度FD・SD研修会の企画について
 (2) 2023年度授業評価アンケート報告書について
 (3) 2023年度授業見学について
 (4) 2024年度FD・SDを実施するための方針およびFD・SDマップの検討について
 (5) 2024年度授業評価アンケートの検討について
- 第7回 (1) 2023年度学術セミナーについて
 (2) 2023年度授業評価アンケート報告書について
 (3) 2023年度授業見学について
 (4) 2024年度FD・SDを実施するための方針およびFD・SDマップの検討について
 (5) 2024年度授業評価アンケートの検討について
- 第8回 (1) 2023年度FD・SD研修会の企画について
 (2) 2024年度授業評価アンケートの検討について
 (3) 2024年度FD・SDを実施するための方針およびFD・SDマップの検討について
 (4) 2023年度前期授業評価アンケート報告書発行について
- 第9回 (1) 2024年度授業評価アンケートの検討について
 (2) 2024年度FD・SDを実施するための方針およびFD・SDマップの検討について
 (3) 第1回～第3回研修会について
 (4) 2023年度後期授業評価アンケート回答状況について(12月18日時点)
- 第10回 (1) 2024年度FD・SDを実施するための方針およびFD・SDマップの検討について
 (2) 2024年度授業評価アンケートの検討について
 (3) 第1回～第3回研修会について
 (4) 自己点検・評価報告について
- 第11回 (1) 2024年度FD・SDを実施するための方針およびFD・SDマップの検討について
 (2) 2024年度授業評価アンケートの検討について
 (3) 自己点検・評価報告について
 (4) 2023年度第2回FD研修会について
- 第12回 (1) 2024年度計画について
 (2) 2024年度研修会について
 (3) 2023年度第2・3回FD研修会アンケート結果について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 2023年度基本計画・実施計画、重点対応事項について
- ・ 科研費セミナー 科研費申請のコツとポイント、事務手続きについて
- ・ 内部質保証推進体制の再構築について
- ・ ハラスメント防止・対策体制の再構築について
- ・ 障害を有する学生に対する支援体制について
- ・ 2024年度入学者選抜の状況について
- ・ 学生ミーティング(仮称)の実施について
- ・ 生成AIとこれからの教育 ～情報倫理から具体的な活用法まで～

b 実施方法

オンライン・対面

c 開催状況(教員の参加状況含む)

第1回FSミーティング 2023年5月10日(48名参加)

科研費セミナー 2023年7月31日～（オンデマンド）
第2回FSミーティング 2023年8月24日（45名参加）
第3回FSミーティング 2023年12月21日（48名参加）
第1回FD研修 2024年2月26日（42名参加）
第2回FD研修 2024年3月4日（45名参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学の課題について、研修を通して1つ1つ確認をしながら、教職員間の認識の共通化が図られ、学生への対応や問題を抱えている学生への対応など、多様化・複雑化する内容に少しでも関わられる状況となり、全員が共通の方向を向くことができるようになった。今後、継続して課題解決のための研修を行うこととなった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期科目 2023年8月1日～9月15日

後期科目 2024年2月1日～3月15日

b 教員や学生への公開状況、方法等

現在、「自己点検・評価委員会」を中心に集計・分析などを行っている。2024年8月1日にホームページにて公開を予定している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現在、「自己点検・評価委員会」を中心に自己点検・評価報告書を作成し、初年度の小括を行っている。
小括内容について、委員会で検討中のため、8月の公表に向けて準備をしている。(6)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和6年8月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(令和6年8月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・令和7年に評価機関(公益財団法人大学基準協会)を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和5年度)

a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。